

PRESS RELEASE

大丸有CSRレポート制作委員会

一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
 特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会
 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会

サステナビリティを高めていく場を目指す大手町・丸の内・有楽町地区の CSR（コミュニティ・ソーシャル・レスポンシビリティ）レポート 「1000年続くまちへ。大丸有CSRレポート2013」を公開・発行

公開・発行日：2013年9月30日(月) / 発行：大丸有CSRレポート制作委員会 / 配布場所：新丸ビル10F「エコツェリア」ほか



だいまるゆう

大丸有CSRレポート制作委員会^{※1}では、東京駅前に広がる大手町・丸の内・有楽町地区のエリア版CSR報告書「1000年続くまちへ。大丸有CSRレポート2013」を、9月30日に公開・発行します。

2008年に日本初のエリア版CSR報告書^{※2}として発行以来、企業・団体の経営者やCSR担当者、行政関係者、学識者、環境関連のイベント・セミナー参加者等に広く配布してきました。6年目となる今回は、まちづくりに関わる「人」と「コミュニティ」が見えるよう、大丸有地区のまちづくりを推進する3組織で制作委員会をつくり、「都市のサステナビリティの現在と未来を伝える」ことを大きな目的として制作。環境への配慮だけでなく、社会や経済など、より多様な課題に対してイノベーションを生み出し続け、総合的なサステナビリティを高めていく場として進化することを目指す大丸有地区の取り組みを紹介します。

※1 大丸有CSRレポート制作委員会は、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(大丸有協議会)、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会(リガール)、一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツェリア協会)で構成されています。

※2 大丸有地区エリア版CSR報告書のCSRは、Community Social Responsibilityを表します。2008年には、環境コミュニケーション大賞(主催:環境省・一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門で奨励賞を受賞しました。2009年度からは、ウェブサイトでも公開しています。

2013年度版の特長

◎まちづくり3組織による共同制作

日本の発展を支えるビジネスと文化の中心地、大丸有のまちづくりを推進してきた3組織が共同で制作。

◎あたたかさを感じる「刺繍」を使ったデザイン

刺繍作家のシマヅカオリさんに、大丸有の光景をモチーフにした刺繍作品を制作していただきました。刺繍から伝わるあたたかさが、大丸有地区に集う「人」と「コミュニティ」の温度を感じさせます。本レポートを読んだ人が、まちづくりに関わりたくなるような、まちのぬくもりを感じるデザインにしました。

◎日本最高レベルの環境印刷を実現

100%再生紙(森林保全)、W2インキ・水なし印刷(大気汚染防止)、カーボンオフセット(温暖化防止)、グリーンプリンティング(総合環境配慮)など、日本最高レベルの環境印刷となっています。東日本大震災への寄付(復興支援)も組み込み、環境印刷の取り組みに関心がある方々に向けて、簡単な紹介文も付記しました。なお、2010年度のCSRレポートは「第4回エコ印刷大賞優秀賞」、2011年度のCSRレポートは「第5回エコ印刷大賞」をそれぞれ受賞しています。

「1000年続くまちへ。大丸有 CSR レポート 2013」 概要

■大丸有のステークホルダーとまちづくりを推進する3つの組織 P2～P3

多様な「人」と「コミュニティ」がつながり新しい価値を生み出すまちづくりを推進する、3つの組織を紹介します。

＜まちづくり3組織＞

- 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会（大丸有協議会）
- 特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会（リガーレ）
- 一般社団法人 大丸有環境共生型まちづくり推進協会（エコツェリア協会）

■トップメッセージ P4～P5

大丸有協議会、リガーレ、エコツェリア協会の3組織の代表者からのメッセージ。

- 伊藤 滋（エコツェリア協会理事長）
- 小林重敬（リガーレ理事長）
- 合場直人（大丸有協議会理事長）



▲トップメッセージ P4～P5

■2050年へのまなざし P6～P7

サステイナブルなまちづくりを進めていくためには何が必要か。有識者にインタビュー。

- 吉見 俊哉 氏（東京大学副学長、教育企画室室長、大学総合教育研究センターセンター長）
——グローバル都市として「文化力」は欠かせない。大丸有は「東京文化」のポータルとなれ
- 仲條 亮子 氏（早稲田大学大学院ファイナンス研究科非常勤講師）
——多様な能力の参画こそ未来の価値づくり。多面的なポートフォリオを大丸有のまちづくりへ反映しよう

■2012年度のCSRアクション P8～P17

2012年度に大丸有で行われた様々な取り組みを、4つの観点から紹介します。

- 1) まちづくり
「新顔」ビル、登場/環境まちづくりの取り組み/
エリアマネジメントによるまちづくり
- 2) コミュニティアクション
市民コミュニティ/ビジネスコミュニティ/店舗コミュニティ
- 3) 安全・安心
- 4) まち育て——新たな価値づくり

※大丸有協議会、リガーレ、エコツェリア協会、各組織の活動も紹介しています。



▲大丸有アクションMAP P22～P23

■大丸有の健康診断（まちづくりデータ集） P18～P21

環境まちづくりの推進を定点観測するため、社会、経済、環境、コミュニティの視点でデータを集約しています。廃棄物発生量、CO2排出量、太陽光パネルによる発電出力に加え、丸の内シャトル乗車人数、打ち水プロジェクト参加者数、丸の内朝大学の受講生数、丸の内マルシェの利用人数等、大丸有エリア独自の活動成果も掲載しています。

■大丸有アクションMAP P22～P23

大丸有の環境まちづくりをひと目で俯瞰できます。大丸有地区に設置された太陽光パネルの位置、屋上緑化エリア、電気自動車の充電器設置箇所などがマッピングされています。

【仕様】

◎冊子版

- タイトル： 「1000年続くまちへ。大丸有CSRレポート2013」
- 発行主体： 大丸有CSRレポート制作委員会
一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会(大丸有協議会)、
特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会(リガーレ)、
一般社団法人大丸有環境共生型まちづくり推進協会(エコツェリア協会)
- 発行日： 2013年9月
- 形態： 24ページ/A4冊子
- 部数： 和文5000部(英文版も10月30日に発行予定)
- 配布ルート： 新丸ビル10F「エコツェリア」、環境セミナー・イベントでの配布、
エリア外まちづくり・環境講演会での配布ほか

◎WEB版

- URL： <http://ecozzeria.jp/>
- 公開日： 2013年10月30日(予定)



エコツェリア協会のWEBサイトは6月にリニューアル。大丸有エリアの集う人々やコミュニティを多く紹介しています。